

# 神奈川県高等学校視聴覚教育研究会

## 神奈川県高等学校文化連盟放送・情報専門部

### 令和3年度 第3回 合同顧問総会

期日 令和3年(2021)年 4月17日(土)

会場 オンライン開催(配信元:神奈川県立神奈川工業高等学校)

#### 次 第

##### 1. 総会行事

###### 議 事

- (ア) 令和2(2020)年度事業報告
- (イ) 令和2(2020)年度会計報告・会計監査報告
- (ウ) 規約改正
- (エ) 令和3(2021)年度役員案  
(役員名簿、上部団体役員一覧)
- (オ) 令和3(2021)年度事業計画案
- (カ) 令和3(2021)年度年間予算案

##### 2. 諸連絡

- (ア) 令和2年 放送指導者講座報告
- (イ) NHK杯放送コンテストについて
- (ウ) 以下の大会は内容・運営方法等検討中後日提案後配布予定
  - ・県総合文化祭放送・情報部門大会要項(案)
  - ・アンデパンダン大会要項(案)
- (エ) その他

## 令和2（2020）年度 高視研および高文連放送・情報専門部 事業報告

### ☆顧問総会・大会説明会（県内全ての学校対象）

- 4月25日（土）高視研高文連放送情報専門部合同総会・全体運営会議→中止 ※紙面にて実施

### ☆神奈川県大会（県内全ての学校対象）

- 6月13日（土）第67回NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会予選（神奈川工業高校）→中止
- 6月14日（日）第67回NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会本選（神奈川工業高校）→中止
- 11月29日（日）第35回神奈川県高等学校総合文化祭放送情報部門大会（麻生高校）  
※会場を小田原東高校から麻生高校へ変更。日時を11月15日から11月29日へ変更。  
リアル審査からデータ審査へ変更。
- 3月28日（日）第55回神奈川県高等学校放送アンデパンダン大会（麻生高校）  
※日時を3月14日から3月28日へ変更。リアル審査からデータ審査へ変更。

### ☆各種講習会（県内全ての学校対象）

- 4月11日（土）※総合文化祭全国大会アナウンス出場者対象 強化練習会（FMヨコハマ）→中止
- 6月20・27日（土）※NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会出場者対象強化練習会（神奈川工業高校）  
→中止
- 7月9日（木）放送技術講習会（NHK横浜放送局）→中止
- 8月11日（火）～12日（水）放送技術講習会（日本工学院専門学校）→中止
- 8月20日（木）放送技術講習会（ラジオ日本）→中止
- 12月12日（土）番組ブラッシュアップ講習会（神奈川工業高校）→中止
- 12月26日（土）～27日（日）※教員対象 放送指導者講座（オンラインにて実施）
- 1月9日（土）※総合文化祭関東大会アナウンス出場者対象 強化練習会（FMヨコハマ）→中止
- 1月10日（日）～11日（月）放送技術講習会（未定）→中止

### ◇各種上位大会（上位大会進出校のみ対象）

- 8月2日（日）第67回NHK杯全国高校放送コンテスト出場受付（甲南大学 岡本キャンパス）→中止
- 8月3日（月）第67回NHK杯全国高校放送コンテスト準々決勝（甲南大学 岡本キャンパス）→中止
- 8月4日（火）第67回NHK杯全国高校放送コンテスト準決勝（甲南大学 岡本キャンパス）→中止
- 8月5日（水）第67回NHK杯全国高校放送コンテスト決勝（兵庫県立芸術文化センター）→中止
- 7月31（金）～8月2日（日）第44回全国高等学校総合文化祭高知大会放送部門大会  
(オンラインにて実施)
- 1月31日（日）第18回関東地区高校放送コンクール（茨城県・日立ビックセンター）→中止

### ◇神奈川県高文連関係行事（該当校のみ対象）

- 7月18日（土）第44回全国高総文祭・高知大会派遣激励会（横浜市西公会堂）→中止
- 8月17日（月）文化フェスタ2020 リハーサル（県立青少年センター）→中止
- 8月18日（火）文化フェスタ2020（県立青少年センター）→中止
- 10月24日（土）県高総文祭総合開会式（HP上にて実施）  
※今年度は司会業務はなし
- 1月17日（日）神奈川県高等学校総合文化祭総合開会式（HP上にて実施）  
※今年度は司会業務はなし
- 2月上旬 神奈川県部活ドリーム大賞（場所未定） ※今年度は司会業務はなし

### ◇各種研究大会（高視研および上位団体行事）

- 11月13日（金）14日（土）オンラインで実施  
第24回聴覚教育総合全国大会 第71回放送教育研究会全国大会 合同大会（大阪府）
- 11月20日（水）  
第70回関東甲信越地方放送教育研究大会・第67回関東甲信越学校視聴覚教育研究大会（千葉県千葉市）
- 12月3日（木）第3回神奈川県学校放送視聴覚教育研究協議会研究発表大会 川崎大会

### □運営会議（役員校のみ対象）

- 5月11日（木）第1回運営会議（オンライン会議） 13：30～16：30  
※紙面総会準備、各種大会検討
- 7月25日（土）第2回運営会議（オンライン会議） 14：00～16：00  
※各種大会検討
- 8月5日（水）第3回運営会議（オンライン会議） 16：00～17：00  
※総文祭検討
- 8月29日（土）第4回運営会議（オンライン会議） 11：00～12：00  
※総文祭データ審査検討
- 9月19日（土）第5回運営会議（オンライン会議） 13：00～16：00  
※総文祭データ審査詳細検討
- 10月17日（土）第6回運営会議（麻生高校） 13：00～16：00  
※総文祭当日詳細検討
- 11月28日（土）第7回運営委員会（麻生高校） 15：00～17：00  
※神奈川県高等学校総合文化祭放送情報部門大会全前日準備
- 12月12日（土）第8回運営会議（神奈川工業高校） 14：00～17：00  
※アンデパンダン大会検討、来年度役員選出、総文祭反省、年間予定作成
- 2月13日（土）第9回運営会議（オンライン会議） 13：00～15：00  
※アンデパンダン大会詳細検討、来年度準備
- 3月27日（土）第10回運営会議（麻生高校） 13：00～15：00  
※アンデパンダン大会前日準備

神奈川県高等学校視聴覚教育研究会  
令和2年度 決算報告

1. 収入の部

項目	予算額(A)	収入額(B)	差額(A-B)	(単位 円)
				適用
会費	374,000	354,000	20,000	全:4000円・定通:2000円 全:85校・定通:7校
繰越金	368,702	368,702	0	
雑収入	0	3	△ 3	利子
合計	742,702	722,705	19,997	

2. 支出の部

項目	予算額(a)	執行額(b)	執行残額(a-b)	(単位 円)
				適用
会議費	2,000	0	2,000	総会・事務局会
部会活動補助	190,000	190,000	0	企画総務部 120,000円 技術講習部 60,000円 高文連総合文化祭 10,000円
事務局費	50,000	7,482	42,518	通信費・事務用品
交通費	20,000	0	20,000	事務局員交通費
大会研修費	150,000	20,660	129,340	NHK全国顧問研修会
分担金	70,000	17,500	52,500	神放協協議会・全国メディア教育
広報費	75,000	49,720	25,280	第61号高視研冊子・大会要項掲載
派遣研修費	100,000	0	100,000	関プロ大会・全総文祭他
予備費	85,702	0	85,702	
合計	742,702	285,362	457,340	

次年度繰越金	437,343
--------	---------

上記のとおり報告します

令和3年3月28日

会計

下田 加容子



監査の結果、適正であることを認めます。

令和3年3月28日

会計監査

会計監査

富山 純一  
片山 浩行



**神奈川県高等学校文化連盟 放送・情報専門部会**  
**2020年度 決算書(案)**

1. 収入の部

科 目	予算案	決算	差 引	備 考	
繰越金	526,444	526,444	0		
大会参加費	NHK杯	350,000	0	350,000	
	アンパン	110,000	0	110,000	特例で参加費無料に変更
	総文祭	0	0	0	参加費無料
補助金	高視研	210,000	210,000	0	
	高文連	400,000	420,000	△ 20,000	
		△ 35,330	35,330	高文連へ残金返金	
その他	6	6	0	利息6円	
合 計	1,596,450	1,121,120	475,330		

2. 支出の部


科 目	予算案	決算	差 引	備 考	
本部費	会議費	20,000	0	20,000	アンパン反省会等
	交通費	70,000	0	70,000	NHK全国大会審査員、生徒役員会
	通信費	10,000	15,040	△ 5,040	送料、振込手数料
	機材運搬費	5,000	0	5,000	
	消耗品	100,000	250,057	△ 150,057	アンプ、ケーブル、変換器他
	その他	5,000		5,000	保険代
	予備費	0	0	0	
大会活動費	会場費	0	0	0	
	審査謝礼費	160,000	99,000	61,000	特別審査員
	印刷費	500,000	0	500,000	大会冊子、ポスター用紙
	表彰関係費	160,000	25,932	134,068	賞状、トロフィー、筆耕代
	食料費	130,000	17,599	112,401	審査員・ボランティアスタッフ弁当、生徒飲物
	その他	10,000		10,000	大会要項購入
講習会	謝礼・交通費	50,000	0	50,000	交通費、講師謝礼
	材料費	70,000	0	70,000	冬の講習会会場費
補助金	Nコン全国大会	25,000	0	25,000	控室使用料
	総文祭関東大会	20,000	0	20,000	参加費、会議室使用料
	指導者講習会	16,000	0	16,000	全国コンテスト委員会主催 無料
予備費	235,450	0	235,450		
支出合計	1,586,450	407,628	1,178,822		

次年度繰越金	713,492
--------	---------

帳票類、関係書類ならびに出納経理は適正に行われていた。

2021年3月28日

会計監査 富山 純 

会計監査 片山 浩行 

# 神奈川県高等学校視聴覚教育研究会規約及び規則(案)

## 《現行》

細則 2.

高等学校・中等教育学校は会費 4,000 円とする。定時制・通信制・分校・特別支援学校の高等部はその半額とする。

## 《改正案》

細則 2.

高等学校・中等教育学校・特別支援学校の高等部は 3,000 円とする。ただし、研究会・学校法人・

教育委員会等单位で一括納付する場合、50 校以上となる時、以下の計算式で求めた額を納付額とする。

$$\text{会費} \times \text{学校数} \times 0.7$$

附則

10. この規約は令和 3 年 4 月 17 日改正し実施する。

令和3年度高視研・高文連放送情報専門部役員（案）

高視研役職	高文連役職	氏名	学校名	役員年数
会長	部会長	川又 弘明	県立横浜緑園高校	
副会長	副部会長	片受 健一	県立神奈川工業高校	
副会長	副部会長			
事務局長 講習副部長	幹事	吉田 健一	県立上矢部高校	2年目
事務局次長	幹事	植田 渥士	県立平塚江南高校	2年目
会計	理事 会計	浦田 勝也	県立神奈川工業高校	2年目
会計 審査副部長 講習部副部長	事務局長 会計	下田 加容子	県立麻生高校	2年目
会計監査	会計監査	片山 浩行	横浜市立みなと総合高校	2年目
会計監査	会計監査	松本 文夫	県立小田原高校	1年目
企画総務部長 講習副部長	理事	眞田 明広	県立小田原東高校	2年目
企画総務副部長	総文祭実行委員	小林 智行	県立中央農業高校	2年目
企画総務副部長 審査副部長	幹事	得田 真実子	県立生田高校	1年目
企画総務副部長	編集委員	松瀬 万葉	県立足柄高校	1年目
企画総務副部長	幹事	水谷 正公	向上高校	2年目
企画総務副部長	幹事	高橋 英樹	横浜創英高校	2年目
運営部長	幹事	榊原 肇	法政大学第二高校	1年目
運営部会場係	幹事	柴田 真理子	県立白山高校	1年目
運営部会場係	幹事	白井 亘	県立神奈川総合高校	1年目
運営部会場係	幹事	宮崎 俊忠	県立金井高校	1年目
運営部会場係	幹事	小林 浩子	県立多摩高校	1年目
運営部会場係	幹事	岡元 悠太	横浜創英高校	2年目
運営部会場係	幹事	長岡 正浩	日本大学藤沢高校	1年目
審査部長	幹事 生徒委員引率	山本 良子	県立港北高校	2年目
講習副会長	幹事	三宅 義人	捜真女学校高等学部	2年目
講習副部長	幹事	池原 なな子	川崎市立高津高校	2年目
講習副部長	幹事	武淵 朱由	青山学院横浜英和高校	2年目

その他上部団体役員

NHK杯全国高校放送コンテスト運営委員

眞田 明広（県立小田原東高校） 下田 加容子（県立麻生高校） 浦田 勝也（県立神奈川工業高校）  
 小林 智行（県立中央農業高校） 石川 岩夫（県立麻生高校） 武淵 朱由（青山学院横浜英和高校）

神奈川県学校放送視聴覚教育研究協議会

副会長：川又 弘明（県立横浜緑園高校） 常任理事：吉田 健一（県立上矢部高校）  
 理事：眞田 明広（県立小田原東高校） 植田 渥士（県立平塚江南高校）

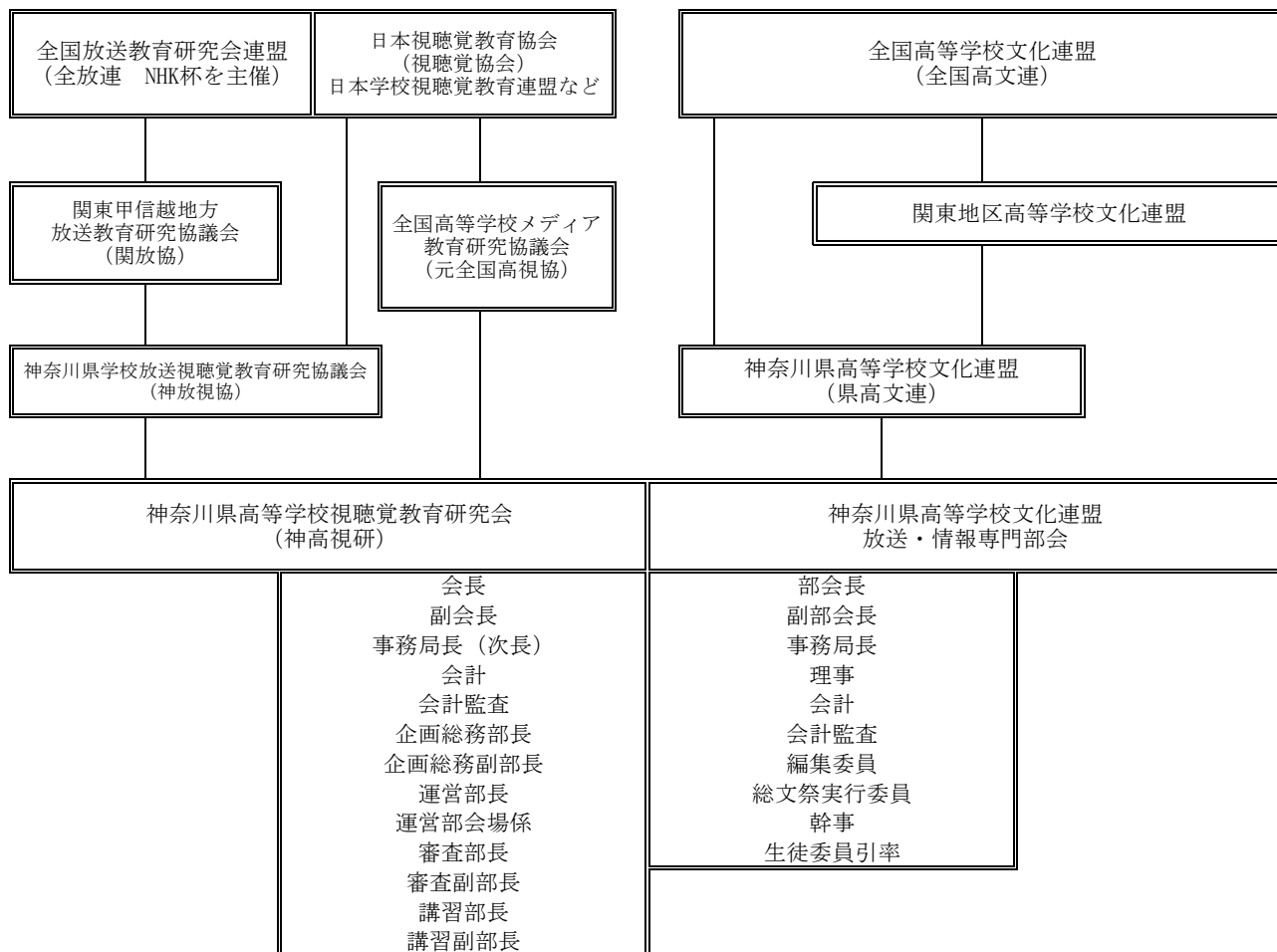
全国高等学校メディア教育研究協議会

理事：川又 弘明（県立横浜緑園高校）

全国高等学校文化連盟放送専門部

事務局：水谷 正公（向上高校）

神奈川県高等学校視聴覚教育研究会  
 神奈川県高等学校文化連盟放送・情報専門部  
 組織図 ならびに役職一覧



上部団体役員

NHK杯全国高校放送コンテスト運営委員

眞田 明広 (県立小田原東高校)    下田 加容子 (県立麻生高校)    浦田 勝也 (県立神奈川工業高校)  
 小林 智行 (県立中央農業高校)    石川 岩夫 (県立麻生高校)    武淵 朱由 (青山学院横浜英和高校)

神奈川県学校放送視聴覚教育研究協議会

副会長：川又 弘明 (県立横浜緑園高校)    常任理事：吉田 健一 (県立上矢部高校)  
 理事：眞田 明広 (県立小田原東高校)    植田 渥士 (県立平塚江南高校)

全国高等学校メディア教育研究協議会

理事：川又 弘明 (県立横浜緑園高校)

全国高等学校文化連盟放送専門部

事務局：水谷 正公 (向上高校)



## 令和3（2021）年度 神高視研、高文連放送・情報専門部 事業予定

### ☆顧問総会・大会説明会（県内全ての学校対象）

- 4月17日（土）高視研、高文連放送・情報専門部合同総会、全体運営会議（オンライン開催）

※第68回NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会  
第36回神奈川県高等学校総合文化祭放送情報部門大会  
第56回神奈川県高等学校放送アンデパンダン大会  
上記各大会生徒説明会を含む

受付12:30～ 総会・説明会13:00～16:00

### ☆神奈川県大会（県内全ての学校対象）

- 6月12日（土）第68回NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会予選（神奈川工業高校）

※大会申込期間：5月3日（月）～14日（金） エントリー申込確認期間：5月18日（火）～20日（木）  
大会当日会場受付13:00～ 大会13:30～

- 6月13日（日）第68回NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会本選（神奈川工業高校）

※高等学校総合文化祭派遣激励会・総合開会司会生徒選考会を含む  
予選通過者発表8:30～ 会場受付8:35～ 大会9:00～

- 11月14日（日）第36回神奈川県高等学校総合文化祭放送情報部門大会（小田原東高校）

※大会申込期間：9月20日（月）～10月1日（金） エントリー申込確認期間：10月5日（火）～7日（木）  
大会当日会場受付8:30～ 大会9:00～

- 3月13日（日）第56回神奈川県高等学校放送アンデパンダン大会（麻生高校）

※大会申込期間：1月10日（月）～21日（金） エントリー申込確認期間：1月25日（火）～27日（木）  
大会当日会場受付9:00～ 大会9:30～

### ☆各種講習会（県内全ての学校対象）

- 4月 ※総合文化祭全国大会アナウンス出場者対象 強化練習会（FM横浜）→中止
- 6月 ※NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会出場者対象強化練習会（未定）
- 7月 放送技術講習会（NHK横浜放送局）
- 8月 放送技術講習会（日本工学院専門学校）
- 8月 放送技術講習会（ラジオ日本）
- 12月番組ブラッシュアップ講習会（神奈川工業高校）
- 12月27日（月）～28日（火）※教員対象 放送指導者講座（千代田放送会館）
- 1月 ※総合文化祭関東大会アナウンス出場者対象 強化練習会（FM横浜）
- 1月 放送技術講習会（未定）

### ◇各種上位大会（上位大会進出校のみ対象）

- 7月11日（土）第68回NHK杯全国高校放送コンテスト準々決勝（データ審査）
- 7月26日（月）第68回NHK杯全国高校放送コンテスト準決勝（データ審査）
- 7月29日（木）第68回NHK杯全国高校放送コンテスト決勝（データ審査、片柳アリーナ）
- 8月3日（火）～8月5日（木）第45回全国高等学校総合文化祭和歌山大会放送部門大会  
(かつらぎ総合文化会館)
- 1月 日（日）第19回関東地区高校放送コンクール（埼玉）

### ◇神奈川県高文連関係行事（該当校のみ対象）

- 7月17日（土）第45回全国高総文祭・和歌山大会派遣激励会（横浜市西公会堂）  
※総合司会業務（第68回NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会アナウンス上位入賞者）  
7月上旬に司会練習会あり
- 10月23日（土）県高総文祭総合開会式（県立音楽堂）  
※総合司会業務（第68回NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会アナウンス上位入賞者）  
10月中旬に司会練習会あり
- 1月16日（日）神奈川県高等学校総合文化祭総合閉会式（県立青少年センター）  
※総合司会業務（第36回神奈川県高等学校総合文化祭アナウンス上位入賞者）  
1月上旬に司会練習会あり
- 2月上旬 神奈川部活ドリーム大賞（場所未定）  
※司会業務（第35回神奈川県高等学校総合文化祭アナウンス上位入賞者）

### ◇各種研究大会および会議（高視研および上位団体行事）

- 6月12日（金）神奈川県学校放送視聴覚教育研究協議 理事会・事務局会 川崎市中原市民館
- 11月12日（金）  
令和3年度第71回関東甲信越放送・第68回視聴覚教育研究大会 埼玉大会
- 11月26日（金）第3回神奈川県学校放送視聴覚教育研究協議会研究発表大会  
・会場 横須賀市生涯学習センター
- 1月22日（土）  
第25回聴覚教育総合全国大会 第72回放送教育研究会全国大会 合同大会(オンライン開催)
- 2月～3月ごろ 神奈川県学校放送視聴覚教育研究協議会 理事会・事務局会 /川崎

### □運営会議（役員校のみ対象）

- 4月10日（土）第1回運営会議（神奈川工業高校） 13:00～17:00  
※アンデパンダン大会反省、総文祭要項作成、総会資料校正、総会運営準備

- 5月22日(土) 第2回運営会議(神奈川工業高校) 14:00~17:00  
※NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会運営準備、プログラム校正、夏の講習会準備
- 6月12日(土) 第3回運営会議(神奈川工業高校) 10:00~12:00  
※NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会当日準備
- 6月19日(土) 第4回運営会議(神奈川工業高校) 9:00~10:00 10:00~16:00  
※Nコン反省(9:00~10:00)  
NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会出場説明会(該当校のみ 10:00~16:00)
- 6月27日(土) 第5回運営会議(神奈川工業高校) 10:00~16:00  
※NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会出場説明会(該当校のみ)
- 7月1日(木) 放送技術講習会運営会議(日本工学院専門学校) →去年のまま  
※日本工学院専門学校打ち合わせ(該当校のみ)
- 8月29日(土) 第6回運営会議(未定) 未定  
※講習会等振り返り
- 10月9日(土) 第7回運営会議(小田原東高校) 14:00~17:00  
※神奈川県高等学校総合文化祭放送情報部門大会運営準備、プログラム校正、冬の講習会準備
- 11月13日(土) 第8回運営委員会(小田原東高校) 15:00~17:00  
※神奈川県高等学校総合文化祭放送情報部門大会当日準備
- 12月11日(土) 第9回運営会議(神奈川工業高校) 14:00~17:00  
※アンデパンダン大会事前準備、来年度役員選出、総文祭反省、年間予定作成
- 2月12日(土) 第10回運営会議(捜真女学校) 13:00~17:00  
※アンデパンダン大会生徒実行委員会、大会運営準備、プログラム校正、総会資料作成、Nコン要項作成
- 3月12日(土) 第11回運営会議(麻生高校) 13:00~15:00  
※アンデパンダン生徒実行委員会、大会前日準備

神奈川県高等学校視聴覚教育研究会  
令和3年度 予算(案)

1. 収入の部

(単位 円)

項 目	今年度予算額	昨年度予算額	増減	適 用
会費	414,000	374,000	40,000	@3,000円 県立294,000 他 40校
繰越金	437,343	368,702	68,641	
雑収入	0	0	0	
合計	851,343	742,702	108,641	

2. 支出の部

(単位 円)

項 目	今年度予算額	昨年度予算額	増減	適 用
会議費	2,000	2,000	0	総会・事務局会
部会活動補助	210,000	210,000	0	企画総務部 120,000円
			0	技術講習部 60,000円
			0	高文連総合文化祭 10,000円
			0	NH全国顧問研修会派遣 20,000円
事務局費	50,000	50,000	0	通信費・事務用品
交通費	20,000	20,000	0	事務局員交通費等
大会研修費	180,000	150,000	30,000	大会講師研修会代金・研修会講師代・オンライン研修運営費用
分担金	110,000	70,000	40,000	神放協協議会・全国メディア教育(2年分)
広報費	100,000	75,000	25,000	62回 高視研冊子、HP維持費等
派遣研修費	100,000	100,000	0	NHK杯・関ブロ大会・全総文祭他
予備費	79,343	85,702	△ 6,359	
合計	851,343	762,702	88,641	

神奈川県高等学校文化連盟 放送・情報専門部会

2021年度 予算書(案)

1. 収入の部

科 目	予算案	昨年度予算	差 引	備 考	
繰越金	713,492	526,444	187,048		
大会参加費	NHK杯	350,000	350,000	0	
	アンパン	110,000	110,000	0	
	総文祭	0	0	0	参加費無料
補助金	高視研	210,000	210,000	0	大会、技術講習会、NHK顧問研修会等補助
	高文連	420,000	400,000	20,000	
その他	6	6	0	利息	
合 計	1,803,498	1,596,450	207,048		

2. 支出の部

科 目	予算案	昨年度予算	差 引	備 考	
本部費	1 会議費	20,000	20,000	0	アンパン会議・反省会
	2 交通費	70,000	70,000	0	生徒役員会
	3 通信費	50,000	10,000	40,000	後援依頼郵送、振込手数料
	4 機材運搬費	5,000	5,000	0	
	5 消耗品	200,000	100,000	100,000	機材更新、文房具他
	6 その他	5,000	5,000	0	保険代
	7 予備費	0	0	0	
大会活動費	8 会場費	0	0	0	
	9 審査謝礼費	160,000	160,000	0	特別審査員
	10 印刷費	500,000	500,000	0	大会冊子、ポスター用紙・印刷
	11 表彰関係費	160,000	160,000	0	賞状、トロフィー(NHK大会)
	12 食料費	130,000	130,000	0	審査員・ボランティアスタッフ弁当、生徒飲物
	13 その他	10,000	10,000	0	大会要項購入
講習会	19 謝礼・交通費	50,000	50,000	0	講師交通費、講師謝礼
	20 材料費	70,000	70,000	0	会場費
補助金	21 Nコン全国大会	0	25,000	△ 25,000	控室使用料(オンライン開催)
	22 総文祭関東大会	20,000	20,000	0	参加費
	23 指導者講習会	16,000	16,000	0	全国コンテスト委員会主催
予備費	337,498	245,450	92,048		
支出合計	1,803,498	1,596,450	207,048		

令和2年度（第43回）校内放送指導者講座（オンライン実施） 報告

1日目：捜真女学校高等部 齋藤 辰太郎

2日目：神奈川県立生田高校 得田 真実子

1日目 令和2年12月27日（日）

受付 9:30

開会行事 10:15

講座1「アナウンス・朗読」10:30～15:00

講師 飯田恵一先生（NHK放送研修センター 日本語センター 専門委員）

まず、飯田先生からアナウンスと朗読にて、伝わるか、伝わらないかという大前提のお話をさせていただき、どうすれば伝わるような読み方になるのか、以下の観点でお話がありました。

・アナウンス

①話すように読んでいるか

②イントネーション

③発声

④意味のまとまりはわかりやすいか

・朗読

①聞き手を意識しているか

②音の構成は出来ているのか何を伝えたいのか

③間

上述した観点の話聞きながら、実際に受講者が読み飯田先生からアドバイスを頂くという実践的な指導を見ることができました。特に、アナウンスの①、②、④の部分を中心に講義して頂きました。①では、原稿を読んでしまうと途端に相手に話すという意識がなくなり、ただ読んでしまいがちになるというところから、実際に駅のホームを想定して白線からはみ出しそうな子どもに対して注意してみるという場面を想定し、受講者が実演したところ劇的によくなりました。また、②では日本語は欧米がアクセントによって意味を持たせていることと違い、音の高低により意味を持たせるというお話を前提に講義が進みました。日本語では高い音で発音するときは重要なもの、それから修飾する言葉に用いると意味が伝わりやすいということを教わり、受講者が実践し飯田先生から指導を受けました。④では、読み手と異なり聞き手は耳から入った情報だけが頼りになります。従って、長いよりかは短く、そして一般的な言葉を使うよう教えていただきました。NHKのニュースは中学卒業程度の方が難く聞ける内容を想定している様子です。

以上のことを学習したのち、実際のコンクールで使われたアナウンスと朗読の審査を行いました。それぞれ3名分ずつ、準決勝まで残った学生の録音データを聞き、100点満点で採点しました。コンクールと同様に、一回だけ聞いて審査をするという手順でした。グループに分かれ、採点の観点についてそれぞれ講評を行い議論しました。アナウンス審査では分かりやすいかどうか、読み方がアニメ的なものはどう評価するかといった話題になり話し合いました。また、朗読ではゆったりとした間をどう評価するかということ、2人以上登場会話をどう生徒に指導するかという議論になりました。

採点した点数はグーグルフォームで集計され、自分のつけた点数と、受講者の平均、飯田先生のつけた点数、実際にコンクールでつけられた点数の平均点を比較することができました。

## 【受講後の所感】

放送部の顧問1年目でしたので、右も左も様子が分からない状況でしたが、コンクールに出場するアナウンス・朗読の内容や審査の方法などが具体的に知ることができ、まずは今後の部活動の指導を安心して行うことができそうです。具体的に、相手に伝わりやすい読み方はどのようなものなのか、ポイント毎に教えて頂き、またその指導の実践をリアルタイムで拝見することができてとても勉強になりました。最終的には伝わりやすいかどうかという目的があること、なぜ伝わりやすいのか分析して話し合い、新たな観点を培っていくことが重要であることが分かり、充実した講座でした。

2日目 令和2年12月28日(月)

受付 9:30

講座2「番組制作」10:15~15:00

講師 中野信子先生(NHK制作局<第1制作ユニット>教育・次世代 チーフ・プロデューサー)

<午前>

- ・各学校の参加者による交流・意見交換(不参加)
- ・模擬審査 全国大会出場作品を基に、テレビドラマ・ラジオドキュメントの審査。

各自で時間内に3作品ずつ視聴し、Googleフォームで投票。その後グループで意見交換をし、レクチャーを受ける。グループ内では、テレビドラマではコマ割りやカットの手法、物語の中にある各校のオリジナリティについて議論がなされた。特にLGBTQをテーマにした作品に対しては、顧問の中でも物語の展開に対して「ありきたり」「新しい」と両極の感じ方が出た。審査員がそれまでに見てきたものの違いで意見が分かれたように思う。ラジオドキュメントでは、昨年度のテレビドキュメントの模擬審査と同様に、取材対象に対してどれほど真摯に向き合ったのかがグループでも全体講評でも話された。また、NHKの番組を意識したと思われる作品に対しては、パロディ(あるいはオマージュ)に対する意見が分かれた。

<午後>中野先生による講義

○審査について

・番組の審査において、大事にされることは、あいまいさや極端な主観性を排除した高校生たちが納得できる審査かどうか。点数や順位を公表されてもいいように審査することは、高校生のためでもあるし、審査員を守ることもある。

・審査員として中野先生はコンテスト規定での評価基準それぞれに自分の配点をしている。どの項目にどのくらい配点するかは、審査員の多様性があってもいいもの。

⇒評価基準a(企画内容)、b(製作技術)の配点を同等にすると、点差がつけられないことも起こるため、審査を経験する中で試行錯誤が必要である。

・現在審査をめぐる議論が全国大会にもある。

①審査員の単なる合計点でいいのか?

②チャレンジングな作品をどう評価するか?

⇒特にティーンズビデオなどに寄せられる作品を見ると、従来の「ドラマ」や「ドキュメント」の枠にはまらない。

⇒コロナ禍の中で高校生たちも工夫を凝らし、多くの製作技法や技術を駆使しながら、今までの枠組みに当てはまらない作品を作り出せている。

### ○放送番組とは

・中野先生「大勢の人に向けることを前提に、有益な【情報】を届けたり、【メッセージ】を投げかけたりして視聴している【人の心を動かすもの】」→かつて明確だった映画との区切りがあいまいに。今後はYouTubeなどのウェブ番組と放送番組の区切りもあいまいになるだろう。

### ○顧問として指導・評価するうえで

- ・放送部活動でも文法的な正しさではなく、高校生が「伝える必要があるか／伝わるかどうか？」を考える
- ・高校生がもっている感性や能力を大切にしつつ、チャレンジさせてみる。一方で、大人は著作権やプライバシーなどに対する危機管理と責任を生徒に意識させる。

### 【質疑応答で出た面白い（と個人的に感じた）意見】

「チャレンジする」

・放送コンテストが古いものになるのは、審査競技である以上仕方ない部分もある。新しいものに対しては、「受け入れられないこともあること」を受け入れながら挑戦する。

⇒（中野先生）「マスに対してメッセージを伝え、心を動かす作品」を審査する場が放送コンテスト。ただ、考えるべきは今の「マスに受け入れられるもの」が変わってきている？

「フェチと流行」

- ・変えなくてもいいものもある。同時に新しいものを受け入れる必要があるものもある。
- 「大人が見たいもの≠高校生が見たい／創りたいもの？」
- ・授業で作らせてみても生徒からは面白いものが出てくる。徐々に放送コンテストの規定の見直しが必要になってきている段階かも。

### 【受講後の所感】

昨年度の指導者講座でも番組の担当をされた中野先生の講座だった。昨年度は細かい制作上のポイントがメインだったが、今回は審査をする上で、そもそも番組制作について顧問や大人が考えておくことを中心に話されていた。まず審査に関しては、アナウンスや朗読同様に自分の中で明確な基準を作っておく必要があると思った。評価基準の配点も、経験していく中で変化していくこともあり、大会の場だけではなく、NHKの番組などを通して多くの高校生の作品を見て審査の経験を積もうと思う。

講義で話されていたが、様々な活動が制限されていた中で1年は、放送がどうあるべきか、放送コンテストでは何を見ていかなければいけないのか、コロナ禍の今にふさわしいテーマだったように思う。生徒が扱える技術も進化している今、特に番組制作はこれからの放送の在り方を考える中で作り上げていく必要があると思う。「メッセージを伝え、心を動かす作品」の在り方も大きく変化しているのだと感じ、顧問としてどのように生徒の番組制作に携わっていくべきかを、受講後の今も考えている。

中野先生が講義中に湊かなえさんとぶんけいさんの言葉を引用していた。個人的には、ぶんけいさんが言ったように、「放送番組のコンテストという枷・先入観」が高校生の番組制作に与える影響は大きいと思う。放送コンテストが高校生にとって制限される場にはなあってほしくない。できれば、生徒たちが作りたいものを自由に作らせてあげたい。だからといって、好き勝手作っては審査競技として成立しない。高校生の自主性や創造性と、審査競技との折り合いをつけていくのは難しい。その中で、中野先生が言っていた、作品が「高校生が伝えたいこと」あるいは「高校生が伝えるべきこと」か、そしてそれらがちゃんと放送番組として「多くの人に伝わるのか」を指針として生徒の番組制作を支えていきたい。



## 第68回NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会

# 実 施 要 領

### 1. 目的

現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望をもつ人間としての成長をめざし、校内放送活動をメディアリテラシーの実践として位置づけ、情報発信としての放送活動の発展をはかる。

### 2. ねらい

- (1) 美しく豊かな日本語を大切にする心情を育て、あわせて話す力、表現する力を高める。
- (2) 情報発信者としての自覚を高め、あわせて創造性を育てる。
- (3) 社会との関わりに目を向け、放送の果たす役割を学ぶ。
- (4) 人間尊重の心を培い、国際理解を深める放送の働きを確かめる。
- (5) 学園生活の中にうるおいを育て、心のふれあいの場をつくる。

### 3. 研究主題（統一テーマ）

#### 「私たち高校生と放送」

高校生の連帯、先生方とのきずな、地域や社会への結びつきを、日常生活の中で考え、主体的に放送活動に展開すること。

### 4. 主催・後援・主管

主催：神奈川県高等学校視聴覚教育研究会、神奈川県高等学校文化連盟、NHK横浜放送局  
後援：神奈川県教育委員会、日本工学院、ラジオ日本、FMヨコハマ、テレビ神奈川  
神奈川新聞社、朝日新聞社横浜総局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞社横浜支局  
主管：神奈川県高等学校文化連盟放送・情報専門部

### 5. 日程・会場

**審査** ※エントリー発表は5月24日(月)を予定

2021年6月12日(土) 予選 県立神奈川工業高等学校

※実施部門：アナウンス・朗読部門、ラジオドラマ部門

(そのほかエントリー数に応じて実施予定)

- ・役員集合 : 9:00
- ・顧問集合、データ提出 : 11:00 **※全部門提出になります。**
- ・審査打ち合わせ : 11:15～12:00
- ・昼食 : 12:00～13:00
- ・審査開始 : 13:00～16:00

2021年6月13日(日) 本選 県立神奈川工業高等学校

※実施部門：全部門

- ・役員集合 : 8:30
- ・顧問集合 : 9:00
- ・本選進出者(校)発表 : 9:00 (Webにて掲載します)
- ・審査打合せ : 9:00～9:30
- ・審査開始 : 9:30～
- ・閉会式 : 14:00～15:00

## 6. 参加資格

2021年6月現在、神奈川県高等学校視聴覚教育研究会加盟校に在学している生徒であること。

## 7. 出場申し込み

提出書類：①参加申込書（公印の押されたものをPDFデータに変換）

②エントリーファイル（エクセルデータのまま）

※エントリーファイルのパスワードは、「申し込み方法について(PDF)」に記載

提出方法：県立上矢部高校 吉田健一(k-yoshida@pen-kanagawa.ed.jp)宛に提出書類①、②をメールに添付（公印の参加申込書は学校保管、振込証明書のコピー添付は不要）

提出期間：**2021年 5月3日(月)～2021年 5月14日(金)**

## 8. 部門・出場数・出場費

部 門	出 場 数	出 場 費
研 究 発 表	1本	1500円
ア ナ ウ ンス	5名まで*	一人当たり1000円
朗 読	5名まで*	一人当たり1000円
ラジオドキュメント	1本	1500円
テレビドキュメント	1本	1500円
創作ラジオドラマ	1本	1500円
創作テレビドラマ	1本	1500円

**\*アナウンスと朗読に同一の生徒は 出場できません。**

(1) 振込期間 **5月3日(月)～5月14日(金)**

(2) 振込先 横浜銀行(0138) 上溝支店(412) 口座番号(普通) 6048229  
神奈川県高等学校文化連盟放送・情報専門部  
会計 浦田 勝也

\* 振込手数料は、各学校でご負担ください。

\* 振込依頼人は、例の通りをお願いします。

例： 県立〇〇〇高等学校長 私立〇〇〇高等学校

9. 表彰 \* 優秀賞・奨励賞については参加数によって増減することがあります。

部 門	教育長賞	高視研会長賞 及びトロフィー	優秀賞	奨励賞
研 究 発 表	1位	1～2位	3～4位	5～6位
アナウンス	1位	1～6位	6本(7～12位)	13本(13～25位)
朗 読	1位	1～6位	6本(7～12位)	13本(13～25位)
ラジオドキュメント	1位	1～4位	5～6位	4本(7～10位)
テレビドキュメント	1位	1～4位	5～6位	4本(7～10位)
創作ラジオドラマ	1位	1～2位	6本(3～8位)	6本(9～14位)
創作テレビドラマ	1位	1～2位	4本(3～6位)	4本(7～10位)

・アナウンス部門1～6位までの生徒には、和歌山大会派遣激励会と神奈川県総文祭の総合開会式の司会進行をお願いします。詳細は、全国大会出場説明会（6月19日(土)）の時に連絡します。

10. 全国大会への推薦

入賞者および入賞作品を、上位より順に全国大会要領により推薦します。

11. 審査基準

大会テーマに沿ったアナウンス、朗読、番組、研究発表であること。

校内放送研究 No 1 8 2 (赤本) に基づき、審査を行ないます。

\* 赤本とは、「校内放送研究 No 1 8 2」の事を言います

12. 注意事項

- ① 全部門を通じ、出場申し込み後の変更は出来ません。
- ② 申し込みの確認(名前・部門・学年)内容を、Web ページ「集まれ！放送委員会！！」に掲載します。運営側の入力ミスがないか必ず確認してください。確認期間は5月18日(火)～5月20日(木)です。
- ③ 著作権処理が不備であることによって減点・失格となるケースがあります。赤本をよく読んで、正確に処理してください。
- ④ **この大会に参加することにより、氏名、学校名、学年、写真等の個人情報が、ホームページ、プログラムや記録集及び新聞等のメディアに掲載・公開される場合がありますので、ご承知おきください。**なお、このことについてご質問がございましたら、NHK 杯全国高校放送コンテスト県担当者へお問合せください。

問合わせ先： 眞田 明広 〒250-0003 小田原市東町 4-12-1 小田原東高等学校  
0465-34-2847 (学校代表)

13. 各部門参加・制作規定

赤本の各部門規定に準じます。

特に、赤本の p6～p15 における、項目「1」(各部門規定)を参照してください。

また、原稿用紙や番組進行表等の様式規定は赤本の p24～p30 を参照してください。  
※ 研究発表部門についても、赤本「校内放送研究発表会」に準じます。

主にパソコンを使用したスクリーン1面によるプレゼンテーションとします。  
※赤本のデータ及び、各部門に必要な様式のダウンロードは、下記 QR コードより行えます。  
また、「集まれ！放送委員会！！」の Web ページにもリンクが掲載されています。  
「校内放送研究 No 1 8 2 (赤本)」データ 各部門に必要な様式のダウンロードページ



#### 14. データの規格について

##### アナウンス部門

規格：1分10秒～1分30秒以内の音声データを作成。ファイル形式はmp3とする。  
読み始め前、読み終わり後にそれぞれ2秒程度の無音の時間を入れること。

ファイル名は、番号(半角3桁)学校名\_氏名とする。

(105番の場合の例：105新石川\_愛上雄.mp3)

##### 朗読部門

規格：1分30秒～2分以内の音声データを作成。ファイル形式はmp3とする。  
読み始め前、読み終わり後にそれぞれ2秒程度の無音の時間を入れること。

ファイル名は、番号(半角3桁)学校名\_氏名とする。

(225番の場合の例：225新石川\_愛上雄.mp3)

##### ラジオドキュメント部門

規格：6分30秒～7分00秒以内の音声データを作成。ファイル形式はmp3とする。

ファイル名は、番号(半角2桁)学校名\_タイトルとする。

(2番の場合の例：02旧石川\_#高校生の今.mp3)

## テレビドキュメント部門

規格：7分30秒～8分00秒以内の動画ファイルを作成。mp4形式（NTSC規格、H.264コーデック、アスペクト比16:9、SD画質〈解像度480[720×480]〉）とする。

ファイル名は、**番号(半角2桁)学校名\_タイトル**とする。

（10番の場合の例：10旧石川\_#高校生の今.mp4）

## 創作ラジオドラマ部門

規格：8分00秒以内の音声データを作成。ファイル形式はmp3とする。

ファイル名は、**審査会場(半角大文字アルファベット)番号(半角2桁)学校名\_タイトル**とする。

（B会場2番の場合の例：B02旧石川\_#高校生の今.mp3）

## 創作テレビドラマ部門

規格：8分00秒以内の動画ファイルを作成。mp4形式（NTSC規格、H.264コーデック、アスペクト比16:9、SD画質〈解像度480[720×480]〉）とする。

ファイル名は、**番号(半角2桁)学校名\_タイトル**とする。

（2番の場合の例：02旧石川\_#高校生の今.mp4）

## 研究発表部門

規格：プレゼンテーションの様子を撮影した8分00秒以内の音声入り動画ファイルを作成。mp4形式（NTSC規格、H.264コーデック、アスペクト比16:9、SD画質〈解像度480[720×480]〉）とする。

ファイル名は、**番号(半角2桁)学校名\_タイトル**とする。

（5番の場合の例：05旧石川\_#高校生の今.mp4）

## 15. 原稿に関する規定

- ① NHK杯全国高校放送コンテストのWebサイト（全ページのQRコード参照）より「アナウンス・朗読原稿」「番組進行表」作成のために必要な様式をダウンロードし、赤本に従って作成する。

☆ アナウンス・朗読（様式1）

注：A4サイズに印刷をして、真ん中で折って、仕上がりA5版にする。

☆ 番組・研究→番組進行表（様式2-1～4）、その他の許諾書他

- ② 作品1本(1人)についてアナウンス・朗読は2部(コピー可)、番組は番組進行表を1部作成する。

16. データの提出について

- ① 規格にしたがって作成したデータをCD-RまたはDVD-Rに作品1本（人）ごとに入れる。
- ② アナ朗部門は「アナウンス・朗読原稿」2部とCD-R、番組部門は「番組進行表」1部とDVD-RをA4サイズ（角2）の封筒に1作品（人）ごとに入れ、封筒の表には見本のとおりに記載する。
- ③ 全部門、データを予選実施日の指定時間（11時）に会場にて提出する。
- ④ 封筒表書の見本

<アナウンス、朗読>

作品名	作者名	氏名	学校名	○○部門
こころ	夏目漱石	○	県立○○高等学校	123番

<番組・研究>

再生時間	タイトル	団体名	学校名	○○部門
○分○秒	△△◎◎	○	県立○○高等学校	B会場 23番

- 注意1 アナウンス部門は、作者名・作品名は不要。研究発表部門は再生時間は不要。
- 注意2 事前にWebページ「集まれ！放送委員会！！」で発表されるエントリー一覧を見て会場名、発表順番を記入する。
- 注意3 この規定に違反した場合、減点及び失格になる場合があります。

# 神奈川県高等学校視聴覚教育研究会規約及び規則

## 第1条 (名称)

本会は、神奈川県高等学校視聴覚教育研究会（略称 高視研）という。

## 第2条 (目的)

本会は、視聴覚教育研究を通じて県内高等学校教育の推進に寄与することを持って目的とする。

## 第3条 (会員)

本会の会員は、前条の目的に賛同する県内すべての高等学校・中等教育学校・特別支援学校を持って構成する。

## 第4条 (事務局)

本会の事務局は、原則として会長校に置く。

## 第5条 (事業)

本会は、その目的は達成するために次の事業を置く。

1. 生徒の放送・情報活動に関する大会の主催、並びに企画・運営
2. 研究会、講習会、見学会、講演会の開催、並びに企画・運営
3. 視聴覚教材教具、情報機器を取り入れた学習指導の研究
4. その他本会の目的を達成するために必要な事業

## 第6条 (役員)

本会に次の役員を置く。役員任期は2年（会計監査は1年）とする。ただし再任は妨げない。また、部署等の兼任は可とする。

1. 会長1名…会務を統括し本会を代表する。
2. 副会長若干名…会長を補佐し会長に事故があったときは職務を代行する。
3. 事務局長…高視研における各種事務手続きを行う。
4. 会計2名…各種会計業務を行う。
5. 会計監査2名…会計の監査を行う。
6. 企画総務部長1名…高視研業務における各種業務を代表し、会務を処理する。
7. 企画総務部副部長10名程度…企画総務部長を補佐し、高視研業務の企画・運営・庶務を行う。
8. 運営部長1名…会場係を統括し、大会当日の計画を立てる。
9. 運営部会場係10名程度…大会準備並びに大会当日の会場運営を行う。
10. 審査部長1名…各大会の審査内規、審査員の調整を行う。
11. 審査副部長1名…審査部長を補佐する。
12. 講習部長1名…夏季並びに冬季に実施する講習会の企画・立案を行う。
13. 講習部副部長若干名…講習部長を補佐し、各種講習会を運営する。
14. その他、必要に応じて臨時の役員を置くことができる。

## 第7条 (役員選出)

役員は、原則として、NHK 杯全国高校放送コンテスト出場校、全国高等学校総合文化祭出場校、関東地区高校放送コンクール出場校、県高等学校総合文化祭放送情報部門大会情報部門各1位校から選出、また、役員会議からの推薦により選出し、総会の承認を得る。

## 第8条 (総会)

高視研総会を少なくとも毎年1回、会長が招集し、次の事項を審議する。

1. 事業報告
2. 決算報告
3. 役員選出

4. 規約変更
5. 事業予定
6. 予算審議
7. その他本会の運営に関し必要な事項

#### 第9条（議決）

会議の議決は出席者の過半数を持って決定する。

#### 第10条（役員会議）

役員会議は、高視研の運営・企画・立案について随時行う。

#### 第11条（会計）

本会の経費は会費、寄付金及びその他の収入を持ってあてる。会員校は別に定める会費を納入する。

#### 第12条（会計年度）

本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

#### 第13条（規約改正）

本規約の改正は、役員会議が総会に提案し、その承認を得なければならない。

#### 第14条（その他）

本会の運営に必要な細則は、役員会議で定める。

#### 附則

1. この規約は昭和34年11月16日より実施する。
2. この規約は昭和45年7月11日改正し実施する。
3. この規約は昭和49年5月24日改正し実施する。
4. この規約は昭和63年5月24日改正し実施する。
5. この規約は平成10年5月31日改正し実施する。
6. この規約は平成23年4月22日改正し実施する。
7. この規約は平成25年5月11日改正し実施する。
8. この規約は平成31年4月20日改正し実施する。
9. この規約は令和2年4月30日改正し実施する。
10. この規約は令和3年4月17日改正し実施する。

#### 細則

1. 第5条における大会とは  
「NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会」  
「神奈川県高等学校総合文化祭放送情報部門大会」  
「神奈川県高等学校放送アンデパンダン大会」  
その他、放送・視聴覚に関する大会を指す。
2. 高等学校・中等教育学校・特別支援学校の高等部は3,000円とする。ただし、研究会・学校法人・教育委員会等单位で一括納付する場合、50校以上となる時、以下の計算式で求めた額を納付額とする。

$$\text{会費} \times \text{学校数} \times 0.7$$